女性のための生活情報紙
Living リビング 南山の手
2007年 3月17日 289号
無料／土曜日発行 次回発行は3月24日です。
リビング新聞は
● 独自の厳しい掲載基準を設けています。
● 読者の個人情報の取り扱いについては紙面をご覧ください。
● 木曜日または金曜日にリビングレディがお届けしています。
発行／名古屋リビング新聞社

Smile 笑顔プロジェクト

# 「笑顔」にできることって何だろう
# 最近、笑ってる？

この1年間、リビング新聞では、「笑顔プロジェクト」と題して、さまざまな紙面企画やイベントを行ってきました。テーマは、「人と街にもっと笑顔とコミュニケーションを！」。最終回となる今回は「笑顔」をキーワードに活動する人たちとともに、「笑顔のチカラ」について考えます。

写真提供／「MERRY PROJECT」

スマイル 01

## 世界23カ国、2万人の笑顔との出会い

中区・白川公園。「いいねえ。さあ、にっこり！」。名古屋出身のグラフィックデザイナー・水谷孝次さんが、両手にコンパクトカメラを持ち、子どもの顔を次々に撮影していきます。シャッターを押す水谷さんは、笑顔満開。カメラの前の女の子も自然と笑みがこぼれます。

「こうして、私は世界中で2万人の笑顔に会ってきました」

水谷さんは、1999年から「MERRY PROJECT」と題した活動を行っています。内容は、いたってシンプル。「あなたにとって、Merry（楽しいこと、幸せなこと、将来の夢）は何ですか」という質問を街角の人々に投げかけ、その笑顔とメッセージを集めるというもの。集まった「笑顔」は、ポスターや映像などさまざまな形で発表。東京やロンドンをはじめ、震災後の神戸、テロ後のニューヨーク、そして愛・地球博でも展示・発表し、高い評価を受けています。

のべ世界23カ国、2万を超える笑顔との出会い。そこから実にたくさんのことを考えさせられた、と水谷さんはいいます。「貧困とエイズがまん延しているような国の子どもたちが、輝くような笑顔で笑うんですよね」

一方、日本。「万博に合わせて世界中で撮影してきて、最後が愛知でした。地元だし、治安もよくて豊かだから『余裕だな』と思っていました。ところが、これが大苦戦」。水谷さんが求める「つくりものではない、自然で屈託のない笑顔」には、なかなか出会えなかったといいます。「豊かさゆえの貧しさというんですか。アフリカに比べれば、名古屋ははるかに豊かなのにね」

（2面につづく）

（1面の続き）

## 笑顔を引き出すのは笑顔

日本がバブルに踊っていたころ、水谷さんは売れっ子グラフィックデザイナー・アートディレクターとして数々のヒット広告を手がけていました。「当時は寝る暇もないほど働いていました。でもある時、ふと思ったんです。『もっと一般の人を幸せにするアートディレクションがしたい』って」

その後、出会ったのが「笑顔」。「震災で多くの家が倒壊した神戸で、街中にら写真を飾ったこともありました。そうしたら、そのすぐ隣でお店をやっているおばちゃんが『街が明るくなったわ。笑顔を見ていると、元気になる』っていってくれたんです」

笑顔を引き出すのは笑顔、と水谷さんはいいます。「僕が笑えば、あなたも笑う。あなたが笑えば、私も笑う。笑顔には、言語を超える力があるんだ」

カメラを構える水谷さん。現在、中区制100周年の記念事業としての「MERRY PROJECT」も進行中。夢は世界63億人の笑顔を写真に収めることだそう